

北九州市立菊陵中学校
学校だより
4号
校長 上 赤 義 人

学校教育目標
生徒一人一人の個性の伸長を図り、
徳・知・体の調和のとれた、
感謝の心をもつ自主した生徒の育成

通知表の (本年度から違う) 見方と (今までと同じ) 目的

本年度より、学習指導要領が中学校においても完全に実施され、学習評価も昨年度とは異なっています。

各教科の観点別学習状況評価(いわゆるABC)にもとづき、評定を算出することは変わりません。しかし、各教科の観点が従来の4(5)観点(例えば、関心・意欲・態度、思考・判断、資料活用)の技能・表現、知識・理解)から3観点(知識・技能、思考・判断・表現、主体的な学習に取り組む態度)に変わりました。国語科は従来5観点、各教科で観点の内容は異なっていました。

それが、各教科とも3観点の共通した内容のものになりました。

ここで、3観点についてそれぞれ評価内容を説明します。

	評価内容
知識・技能	個別の知識及び技能の習得状況について評価する。また、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしているかも評価します。
思考・判断・表現	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。
主体的な学習に取り組む態度	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価する。

3観点の評価内容を評価するための方法については、教科ごとに裏面に記載しています。そして、3観点の評価内容で評価方法を用いて、十分満足できる=A

概ね満足できる=B 努力を要する=Cと評価します。

それから、各教科の観点別学習状況評価(ABC)にもとづき、評定を算出していきます。本校においては、本年度の学校独自の算出基準を設けています。(右表)

<観点別評価から評定を算出する手順>

①観点別評価のABCをそれぞれ 3点 2点 1点と点数化します。

②例えば、知識・技能がAならば3点

思考・判断・表現がBならば2点

主体的な学習に取り組む態度がCならば1点

合計 6点

点数	評定
9	5
8	5or4
7	4or3
6	3
5	3or2
4	2or1
3	1

③観点別評価の合計点数を右の算出基準に当てはめて評定を決定します。

右の算出基準では、例えば7点では評定が4または3となる場合があります。ここに、通知表の目的があるのではないかと思います。それは、点数7点で評定4となれば、「4となったということのうれしさ」と同時に「安心すると下がってしまう、次も頑張らないと…」と感じてほしいです。逆に、点数7点で評定3となれば、「どうして4になれなかったのか」自分の学習について振り返ってほしいと思います。つまり、通知表の評定から、みなさん一人一人が次回への学習意欲を燃やしてほしいと思います。

そのために、どこをどう頑張ればいいのかをしっかりと考えることが大切です。また、どうしてもそれが分からないときは、教科担当の先生に相談してみましよう。先生方は、必ず次へのアドバイスをしてくれます。

通知表の目的は、今までの学習状況を振り返りながら、次への学習意欲を高めていくためのものですから…。

通知表にいいわけを言うのではなく、通知表からの声に耳を傾けてください。

